

中北.com

地域教育情報紙

中北教育事務所
教育支援スタッフ

チウホドットコム

TEL 0551-23-3046

FAX 0551-23-3013



中北の地域社会 (COMmunity)の心の交流 (COMmunication)をめざします

たて よこ 経(縦)と緯(横)の糸を織っていく

中北教育事務所 所長 興石 信

スリッパに初夏の情感素足なる 飯田蛇笏(句集 家郷の霧より)

5月も中旬に入り、季節は本格的な夏へと急ぎ足で向かっています。自然の営みは、行く春への名残惜しさを微塵も感じさせず、着々と季節を進めていきます。その潔さと用意の周到さに感心するばかりです。

令和4年度も1ヶ月半が経ちました。教育委員会への訪問の際、ある市の教育長さんは、「今年は『Withコロナ』の視点を明確にもって、二歩も三歩も前へ進めていきたい」とおっしゃいました。また、私の前年度の勤務校の生徒会長は、卒業式の答辞の中で「できないことではなく、できることを考えて行動した1年間だった」と振り返りました。コロナとの付き合いは今年度も続く気配です。私たちには、コロナの収束を切に望みながらも、一方で、「コロナであってもできる教育活動を進めていく」、もっと言えば、「コロナだからこそできることがある」といった、意識の変革や発想の転換が求められているのかもしれない。

さて、本教育事務所は、従来の地域教育と学校教育を「教育支援」に統一し、子どもたちの成長を包括的に支援していくこととなりました。教育支援担当、総務担当、スクールソーシャルワーカー、アドバンスティチャーの総勢25名で業務を進めていきます。県教育委員会の出先機関として、また、中北地域の教育振興のため、管内の市町教育委員会や保育園、小中学校、高校、公民館等社会教育の関係機関と連携を図りつつ、与えられた仕事を誠実に果たす中で、地域に開かれた教育行政を推進して参ります。

昨今の子どもたちを取り巻く環境が社会構造の変化や家庭・家族の在り方の多様化に伴い、複雑化、個別化したことで、子どもに起こる問題は、家庭、地域、学校が単一に対応するだけでは、解決どころか、その糸口さえ見つけることが難しいケースが増えてきています。古代ギリシャの哲学者アリストテレスは「人間は社会的動物である」と言いました。人は社会の中で生まれ育ち、社会を維持しながら生きていく、つまり、人は人とのつながりや関わりの中で生き、成長していくという、人間の本質を表す言葉として伝えられています。現在の社会状況、コロナの時代であるからこそ、この言葉のもつ意味や価値を私たちは改めて心に留め、お互いが手を取り合い、将来ある子どもたちの育ちを支えていく必要があります。

家庭、地域、学校が「経糸(縦糸)」となり、子どもたちが安心して過ごせる環境づくりを行うとともに、保育園、小学校、中学校、高校が「緯糸(横糸)」となり、子どもの段階的かつ確かな成長を図っていく。そして、この「経糸」と「緯糸」が太く強固なものであればあるほど、それによって織られる布は、少しのことでは破れない丈夫なものになります。子どもたちが多少の失敗をしてもしっかりと受け止められるセーフティネットの役割を果たすことができます。こうした環境が調うことで、子どもたちは、本来持っている好奇心や探究心を発揮し、目標や夢に向かって失敗を恐れずにチャレンジしていきます。そして、繰り返すチャレンジの向こうに、成長や自己実現があります。

「織物」の経糸に緯糸を通す際に使う木製の道具を「杼(ひ)」、そして、通した緯糸を経糸にしっかりと打ち込んでいく道具を「箆(おさ)」と言います。「杼」と「箆」がきちんと仕事をすることで、目の詰まった強い布が出来上がります。私たち教育事務所は、家庭、地域、学校という「経糸」と、保育園、小学校、中学校、高校という「緯糸」を一枚の布に織り上げていく「杼」や「箆」の役割を果たせるよう努めていきます。学校をはじめ、この便りが届く、それぞれの場所で、お互いのつながりを意識し、また、つながりを作り出し、子どもたちの豊かな成長を支えていただくことをお願いし、年度当初のごあいさつとします。1年間よろしくお祈りします。



「動画の見過ぎ」「ゲーム依存」「家庭でのルールづくり」・・・親子で一緒に考えてみませんか？

内閣府の調査によると、青少年のインターネット利用率は年々高まるとともに、低年齢化が顕著となっています。また、それに伴うネット・ゲーム依存やSNSでの被害・加害、ネットいじめといった問題も増加しています。

このようなインターネットに係る課題と情報モラル教育推進のため、生涯学習課では、R3年度より、2～12歳の子どもをもつ保護者及び小学校高学年児童を対象として「ほっと！ネットセミナー事業」を実施しています。



昨年度はオンラインも含め、約50か所で開催しました。セミナーでは、ネットの危険性だけを伝えるのではなく、子どもたちが上手に付き合うための方策や保護者としての関わり方、ルールの決め方などについて提案しています。また、県警や携帯電話事業者と連携し、それぞれの特徴を生かしてわかりやすく伝えています。



●昨年度参加者の感想から

- ・ここまで詳しいネットセミナーは初めてだったのでとてもためになりました。
- ・まさに、子どもに関しての悩み事No.1でした。あの手この手を使って、とにかくゲームをする時間を減らしています。親がお手本を見せるようにしています。
- ・スマホやゲームの使用が気にはなっていましたが、つつい見て見ぬふりに…。今回のセミナーはスマホやゲームの使用を見直す良いきっかけとなりました。
- ・親のスマホを使用している例もいくつか聞きます。親のモラルも大切です。

今年度はすでに県内20の学校・団体が申し込み済みです（4月現在）。オンラインでの開催もできます。興味を持たれた学校・団体の皆さま、ぜひ、この事業をご活用ください。



ほっと！ネットセミナー



教育相談的な指導について共に学びませんか

日本学校教育相談学会山梨県支部

いじめ、不登校、自傷行為、児童虐待など教育に関する課題は益々増加、深刻化しています。経験と勘、愛情だけでは到底対応しきれない状況になり、教育現場の保育士、教職員の皆様は大変なご苦労をされていることと思います。

私たち学校教育相談学会では、保育や教育に役立つ心理学の理論と方法を学ぶため、年間7回の基礎研修講座を開設し、会員以外の方々にも無料で参加していただけるようにしています。心理学に基づく指導方法の改善に興味のある方は、「日本学校教育相談学会山梨県支部」のHPにアクセスいただき、メールで申し込んで下さい。皆様の参加をお待ちしています。



令和4年度研修計画の概要（6月、7月、8月、10月、12月、1月、2月）

「QUの活用方法」「話の聴き方（傾聴）」「発達障害の支援」「チーム支援の方法」

「ケース会議の進め方」「自傷行為・他害・自殺への対応」「ヤングケアラーの支援」「コーチング入門」など

※会場は県立青少年センター、韮崎市民交流センターニコリ 時間は、14:00～16:30です。

子どもと本のよい出会いを

山梨子ども図書館

「子どもたちの糧となる、本と出会ってほしい」

NPO法人山梨子ども図書館（宮崎さな系理事長）では、「子どもの本の専門家」養成講座 を開講しています。山梨の地で学んでほしい、育てたいと2005年から大事に続けている講座です。

「子どもが見聞きする絵本や昔話には、子どもの心を引き込む文体や磨かれた言葉がたくさんあります。そんな優れた本を選んでくれる大人が、子どもたちの近くにいてほしいと思います。」（宮崎理事長）

絵本、そして、児童書からその先へ

保護者向けに、子どもと一緒に読んでほしい本を紹介する事業(*)も行っています。また、幼稚園児から高校生まで、読み聞かせ講座や絵本講座の講師の派遣もしています。

絵本のなかの言葉の繰り返しを聞き「もうっかい！」と読み聞かせをせがむ子や、本を選ぶ大切さを学んだ、保育士を目指す高校生がいます。

「つらい時期でも希望の光が見える本こそ、生涯の友かもしれません。子どもたちには、『遊んで、食べて、学んで、読んで』大きく育ててほしいですね。」（宮崎理事長）

ぜひ、ホームページもご覧ください。

NPO法人山梨子ども図書館公式HP <https://www.y-kodomo-lib.or.jp>

*山梨県立図書館（山梨県子ども読書支援センター）委託事業



豊かな学びのひととき

山梨ことぶき勸学院 入学式・開講式

4月22日、北巨摩合同庁舎で山梨ことぶき勸学院中北教室の入学式が行われました。中北教室だけの厳粛ながらもアットホームな式に入学する24名全員が出席、中北教育事務所の輿石信所長からの「一生勉強 一生青春」（相田みつを）のことばを胸に、新たな生きがいづくり、仲間づくりの第一歩を踏み出しました。学級会では、学院長の手島俊樹県教育長からの「次代を担う若者たちへ、皆様がお持ちの経験や知識、自らが地域、社会づくりに参画する必要性を伝えていただきたい。」という式辞も伝えられました。



中北教室には、新たな学びを求めて、ご夫婦で入学した方もいらっしゃいます。

「若い頃から山登りやウオーキングなど、2人で楽しんできました。今回、ことぶき勸学院に入学したのも、その延長線です。仕事も続けながら、勸学院の講座を楽しみたいです。クラブ活動ができないことは残念ですが、長年勸学院で学んでいる方と一緒に楽しみたいです。」（梶原博さん・一美さん）

新2年生の開講式も4月19日に行われました。1月中旬から講座が中止となり、約3ヶ月ぶりの勸学院。仲間との久しぶりの再会に、教室のあちこちで笑顔があふれていました。

昭和62年の開校から、令和の時代に続く歴史ある学びの場。県内外から講師の方をお招きしての年間25回の必修講座は、地域を知り、知識を深め、感性を高める魅力的なものばかりです。コロナウイルスの影響も心配されますが、県内各教室では、引き続き感染防止対策を徹底して行い、安全・安心な学びの場となるよう対応していきます。



令和4年度 中北教育事務所 地域教育連携事業について

●『中北地区地域教育推進連絡協議会』および『地域教育フォーラム』の開催

※今後の状況により、予定は変更になる可能性があります。

1 第1回中北地区地域教育推進連絡協議会

日時 令和4年6月30日(木) 14:10~16:30

場所 甲斐市敷島総合文化会館 大ホール・視聴覚室

研修会その1(約60分)

演題「ヤングケアラーへの対応」 講師 山梨県総合教育センター統括SSW 依田 勝芳 氏

研修会その2(約60分 以下を同時進行で実施)

演題「熱喝暁拳~日本航空バレー部と地域の力~(仮)」 講師 月岡 裕二 氏

演題「幼児教育の今日的課題(仮)」 講師 山梨県幼児教育センター 山下 春美 氏

2 中北地区地域教育フォーラム

日時 令和4年10月27日(木) 14:10~16:30

場所 甲斐市双葉ふれあい文化館ホール

アトラクション(約20分) 地域の高校生による文化発表(予定)

講演(約90分) 演題 「言葉の力と地域教育(仮)」

講師 山梨県立図書館館長 金田一 秀穂 氏

3 第2回中北地区地域教育推進連絡協議会

日時 令和5年1月26日(木) 14:10~16:30

場所 甲斐市敷島総合文化会館大ホール

協議会 「実践活動事例」(地域団体3つ発表予定。計40分)

研修会(人権教育研修を含む。約80分)

演題「子どもの心をどう育てるか~愛着形成に課題がある子どもへの対応~(仮)」

講師 公認心理師 内藤 雅人 氏(北杜市)

◆「中北地区 子育て相談窓口・教育相談窓口」冊子を、保育所・幼稚園、小中高及び特別支援の各学校、市町の子育て担当各所に配付しています。当教育事務所のホームページでもご覧いただけます。

◆「中北地区異校種間授業参観『公開できる授業等一覧』」を6月配付予定です。

紙面を飾ってみませんか。

地域教育情報紙『中北.com』は、年6回、奇数月に発行し、中北地区500か所以上に配付しています。学校や地域、諸団体での様々な取り組みを、ぜひ取材させてください。問い合わせ先は下記まで、お気軽にお声がけください。

令和4年度 『中北.com』No.1

編集・発行 中北教育事務所 担当：今津 義弘・伊神 美香

〒407-0024 韮崎市本町4-2-4

電話 0551-23-3046 FAX 0551-23-3013

